

令和5年度 事業報告書

『けやきの郷』拠点区分

サービス区分

就労支援B型事業所『けやきの郷』

仁多福社会法人理念

(献身・貢献 規律・秩序 努力・向上 縁・感謝)

『けやきの郷』基本方針

- ①ノーマライゼーション理念に基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる就労支援（エンパワメント）
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）
- ④専門的技術・知識による支援

運営理念

- ①専門的技術・知識による支援とノーマライゼーションに基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる作業参加
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）による地域生活支援
- ④各機関との連携による支援

社会福祉法人 仁多福祉会

○施設利用者状況（定員 20 名）

令和 5 年度新規利用者 4 名

令和 6 年 3 月 31 日 現在登録数 33 名 男 23 名 女 10 名 制度外受入れ 1 名

令和 5 年度退所者 2 名

○開所・利用状況

令和 5 年度 年間開所日数 242 日 1 カ月平均利用者実人数 20 人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
人数	407	373	424	453	384	401	444
開所	20	20	22	20	20	20	21
一日平均	20.3	18.6	19.2	22.6	19.2	20	21.1

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
人数	473	445	451	395	438	5088
開所	20	20	18	19	20	240
一日平均	23.6	22.2	25	20.7	21.9	21.2

障害種別状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

身体 1 名 知的 14 名 精神 17 名 発達 1 名

年金受給者 有 31 名 生活保護受給者 3 名 無年金者 2 名

○年齢構成（20 歳～79 歳）

歳	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
男	0 名	3 名	2 名	2 名	1 名	2 名	1 名
女	0 名	0 名	1 名	2 名	1 名	0 名	0 名

歳	50～54	55～59	60～64	65～69	70～	平均年齢
男	3 名	3 名	2 名	1 名	3 名	47.3
女	1 名	2 名	3 名	0 名	0 名	47.8

○主たる介護者状況（利用者の年代ごとの介護者状況）

本人の年齢	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
両親	0 名	4 名	4 名	1 名	1 名	0 名	0 名
母親	0 名	1 名	1 名	0 名	4 名	1 名	0 名

父親	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名
姉	0名	0名	0名	0名	0名	2名	0名
兄	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
義姉	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
既婚者	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名
グループホーム	0名	0名	1名	2名	2名	3名	2名
施設入所	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

*両親が介護者になっており、両親ともに75歳以上の利用者が2名、母親（片親）が介護者になっており、母親が75歳以上の利用者が4名在籍している。

○過去の作業活動（就労支援収入）と工賃総支給額（交通費支給額を含む）の推移

	作業活動（就労支援）収入	工賃総支給額
30年度	14,673,661円	7,361,767円
令和元年度	13,117,918円	7,212,008円
令和2年度	12,155,213円	4,867,750円
令和3年度	14,283,806円	6,820,128円
令和4年度	15,300,114円	6,843,270円
令和5年度	14,009,581円	4,837,428円
月平均工賃支給額	一人 21,042円	

就労支援状況（短時間就労を含む）

令和3年度（1名） 令和4年度（1名） 令和5年度（1名）
 現在就労継続者 3名（うち施設契約利用者3名） 施設外作業従事者 0名

バザー出店状況

○福祉事業活動

施設関連行事

実施日	行事名	場所	活動内容
5月26日	交流スポーツ大会	グリーンヒル佐藤	グランドゴルフ 焼肉昼食会
	ソフトバレー交流会	スポーツセンター	不参加。
9月22日	雲南スポーツ大会	アスパル	けやき、パレット合同チームにて参加。競技5種目参加。
6月23日	避難訓練	けやきの郷	地震時の避難訓練。講習。

8月9日	盆前大掃除	けやきの郷	施設内大掃除。
9月12日	秋の研修旅行	ポップサーカス	ポップサーカス見学 かたおかにて昼食 トライアルにて買い物
11月17日	防犯教室	けやきの郷	警察官による特殊詐欺、軽犯罪等についての講習。交通安全についての指導。
11月28日	防災訓練	けやきの郷	防火についてのDVD鑑賞。 消防士より講習。
12月28日	仕事納め会食		昼食会。(忘年会の代替)
3月29日	年度末お疲れ様会	サイクリングターミナル	昼食会。来年度の抱負発表。
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見学・実習受入れ 仁多中学校・島根リハビリテーション学院。 ○ボランティア受入れ 随時受入れを行い行事・作業を通じて利用者と交流。 ○健康教室 年2～3回程度奥出雲町役場保健師さんによる健康教室の開催。体重測定、栄養指導等を行なう。 ○にこにこの会（支援学級の児童・生徒と保護者の団体）との交流会 にこにこ運動会・にこにこ学習発表会に参加。 			

職員研修

開催日	研修	場所
5月17・28日	キャリアパス対応生涯研修	いきいきプラザ島根
8月23・24日	サービス管理責任者研修 児童発達管理責任者研修	朱鷺会館（出雲）
7月31日・8月1・25日	相談支援初任者研修	朱鷺会館（出雲）
8月26日	強度行動障害支援者研修	朱鷺会館（出雲）
11月30日	メンタルヘルス研修	リモート研修
2月20・26日	障がい者虐待防止・権利擁護研修	リモート研修（けやきの郷） 朱鷺会館（出雲）

○施設内会議

職員会議

開催月	主要内容
4月	管理職会議報告。GH短期利用者。利用者ケース報告。デザイン会報告。古書web会議報告。
5月	けやきの郷スポーツ大会。研修報告。仁多米作業確認。実習報告。避難訓練。利用者ケース報告。
6月	利用者ケース報告。健康塾送迎。デザイン会報告。
7月	監査報告。デザイン会報告。古書web会議報告。当事者交流会アンケート。健康塾。身体拘束・虐待防止委員会。
8月	利用者ケース報告。日帰り旅行。デザイン会報告。古書web会議報告。スポーツ大会。送迎サービス。島リハ実習生。
9月	仁多福祉会の今後。GH新規利用者。日帰り遠足の反省。仁多米作業依頼。今後の作業予定。
10月	避難訓練。利用者忘年会。
11月	GH短期利用者。利用者賞与。デザイン会報告。避難訓練。
12月	仕事納め。老健の動向。デザインしよう会報告。忘年会報告。
1月	日中一時支援。理事会報告。令和6年度事業体制。家族支援。年度末お疲れ様回。
2月	健康塾。事務体制。日中一時支援。人事公表。年度末お疲れ様会。
3月	令和6年度の体制。パスカル清掃業務。お疲れ様会。

ケース会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。利用者ケース報告。今年度のケース会の年間計画。GH短期利用者。新規作業。健康塾。
5月	生活部会、作業部会今年度計画。利用者ケース報告。けやきの郷スポーツ大会。業務継続委員会、衛生管理委員会。
6月	生活・作業部会の報告。日帰り遠足。避難訓練。地域包括支援センターの業務について(内部研修)。健康塾。
7月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。放課後児童クラブ。フリースクール。
8月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者のケース報告。健康塾。
9月	各利用者の生活・作業目標の検討。日帰り旅行。
10月	各利用者の生活・作業目標の検討。交通安全教室。デザイン会報告。今後の作業予定。

11月	各利用者の生活・作業目標の検討。日中一時支援。出張報告。
12月	年末昼食会。GH 短期利用者。デザイン会アンケート。健康塾送迎。古書 web 会議報告。
1月	清掃業務。仁多福社会の今後。松江工業高校研究。島リハ実習生。令和6年度の体制。
2月	仁多ヘルパーステーション。家族支援会議報告。デザイン会報告。業務継続・衛生管理委員会。
3月	虐待研修（内部研修）。デザイン会について。身近な体操（研修）

令和5年度 相談支援事業サポートセンターけやき事業報告

平成25年度に開設した相談支援事業所を地域の中核として位置付け、その機能の一層の充実を図る。

【目的】

社会福祉法人仁多福祉会が開設するサポートセンターけやきにおいて実施する相談支援事業の指定・特定相談支援事業及び、障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、相談支援の円滑な運営管理を図ると共に、利用者、障害児及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護の提供を確保する事を目的とする。

【人員配置】

施設管理責任者1名 就労Bけやきの郷兼務
 相談支援専門員1名 専任
 相談支援員 1名 就労Bけやきの郷兼務
 相談支援員補助1名 就労Bけやきの郷兼務

【相談件数】

延べ882件

【相談支援を利用している障害者等の人数】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談支援を利用している障害者等の人数	障害者	実人員	14	13	14	15	17	19	19	16	16	19	20	16	198
		身体障害													0
		重症心身障害													0
		知的障害	4	5	4	4	6	8	6	7	7	7	9	4	71
		精神障害	10	8	10	10	10	9	12	8	9	11	10	11	118
		発達障害													0
		高次脳機能障害				1		1	1	1			1	1	6
		その他					1	1				1			3
	障害児	実人員	3	2	2	6	2	2	4	4	2	1	2	6	36
		身体障害													0
		重症心身障害													0
		知的障害				1					1	1	1		4
		精神障害													0
		発達障害	2	1	1	4	1	2	3	4				4	22
高次脳機能障害														0	
その他		1	1	1	1	1		1		1		1	2	10	
計	実人員	17	15	16	21	19	21	23	20	18	20	22	22	234	
	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害	4	5	4	5	6	8	6	7	8	8	10	4	75	
	精神障害	10	8	10	10	10	9	12	8	9	11	10	11	118	
	発達障害	2	1	1	4	1	2	3	4	0	0	0	4	22	
	高次脳機能障害	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	6	
	その他	1	1	1	1	2	1	1	0	1	1	1	2	13	

【支援方法】

支援方法	訪問	10	9	7	6	9	3	5	8	2	11	5	2	77
	来所相談	39	20	22	22	32	27	29	22	29	34	23	20	319
	同行	9	11	16	22	16	21	20	10	7	12	21	7	172
	電話相談	28	33	17	25	20	14	18	17	19	19	17	20	247
	電子メール	0	0	1	0	6	0	4	0	0	0	0	4	15
	個別支援会議	1	1	2	2	1	1	1	1	4	2	3	5	24
	関係機関	3	2	4	0	5	2	4	4	0	3	1	0	28
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	90	76	69	77	89	68	81	62	61	81	70	58	882

【支援内容】

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	12	3	4	11	4	6	5	3	5	4	7	9	73
	障害や病状の理解に関する支援	0	0	0	5	0	0	0	3	10	9	3	0	30
	健康・医療に関する支援	47	53	33	32	24	35	39	28	28	35	35	18	407
	不安の解消・情緒安定に関する支援	38	39	23	19	17	20	29	25	30	25	18	32	315
	保育・教育に関する支援	0	3	2	2	2	1	2	2	1	0	1	4	20
	家族関係・人間関係に関する支援	20	32	13	21	9	16	14	14	20	27	9	17	212
	家計・経済に関する支援	3	0	0	4	1	4	4	3	3	6	11	3	42
	生活技術に関する支援	32	37	33	23	51	26	27	25	42	46	29	17	388
	就労に関する支援	10	0	7	9	15	13	15	8	4	5	3	5	94
	社会参加・余暇活動に関する支援	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	1	0	6
	権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	6
	計	163	168	115	128	123	121	139	112	143	157	117	107	1,593

【地域生活支援】

障害者及び引きこもり等、特別な支援が必要な方に対する、保健・医療・教育・福祉連携による支援会議の開催

障害児及び特別な支援が必要な幼児・児童に対して、福祉サービスの利用に関する支援の実施
 児童発達支援事業所や療育機関、保育所、学校、教育委員会、保健師等、関係機関との連携や情報共有の場としての個別支援会議の開催

【日中一時支援事業】

3名受け入れ 年間利用日数 225日

〈活動内容〉

小中学校放課後支援、小中学校及び養護学校長期休暇支援、作業参加、調理実習、社会体験（放課後児童クラブスマイルとの連携、公共交通機関の利用等）、日中の見守り支援、おんせんキャンパス送迎支援

【送迎サービス事業】

2名受け入れ 年間利用日数 175日（年間利用回数 190回）

〈活動内容〉

町内外の学校及び施設を利用する障がい児者の相談に応じ、小学校から児童クラブへの送迎や施設及び学校、自宅とおんせんキャンパス間の送迎。

【障害支援区分認定調査】（施設利用に伴うもの・地域生活支援に伴うもの）

件数 11件 （県内 4件 町内 7件）

【職員研修・地域関係機関との連携会議】

第1回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 （アンケート調査、資料配布のみ）

雲南障がい者就業・生活支援センター連絡会議 5年7月6日

障がい者相談支援従事者初任者研修 前期日程のみ受講

県障害支援区分認定調査員研修 （開催なし）

雲南圏域医療的ケア児の在宅療養生活支援研修会 6年2月2日

島根県精神障がい者地域移行・地域定着研修会 5年9月16日

雲南圏域ゲートキーパー養成研修会 6年1月30日

雲南圏域子どもの心に関する関係者研修会 5年11月14日

雲南圏域障害支援区分認定調査員研修 （会議開催なし）

相談支援事業所と市町村との連絡会議 6年5月19日

県障がい者虐待防止研修 6年2月20日、2月26日

高次脳機能障害研修・連絡会 6年3月6日

ギャンブル依存症に対する研修 5年10月20日

罪を犯した人の支援に携わる福祉関係者のための研修会 5年10月20日

【雲南圏域総合支援部会・地域部会】

総合支援協議会運営委員会 3回開催

総合支援協議会総会 5年5月24日開催

奥出雲町地域部会 3回開催

奥出雲町子ども部会 2回開催

就労支援専門部会 2回開催

相談支援部会 3回開催

相談支援部会研修会 グループワーク 5年11月6日

相談支援事業所そよかぜ館主催

高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議 5年7月26日

令和5年度
共同生活援助（外部サービス利用型）「グループホームヴィラ佐白」
事業報告書

令和5年度は2名の入所希望があり10名の利用となった。また、短期利用者として3名の受入れを行った。新型コロナウイルスも5類に移行したが感染予防に気を付けながら利用者の方が楽しめるような行事への取り組みや地域行事への参加を行った。短期入居者・体験利用の対応及び全利用者への精神面・健康管理・生活のライフ作り・自立へ向けた支援への取り組みを行ってきた。また、利用者の方が安心・安全な環境作りと地域に根差したホームの生活作りに努めた。地域でのグループホームとしての役割は年々重要性を増しており、医療ケアを必要とする人の受け入れ、多様化するニーズに対応する事が今後の課題と考えている。

1 共同生活援助の目標

地域における居住の場としてグループホームの充実を図り、利用者が地域で安心して、その人らしく生活ができるよう支援を行った。又、家族との交流を大切にし、家族・本人の意向に基づいて良い関係が保てる洋に調整・助言を行なった。

2 利用者定員と利用者状況

利用定員 10名（うち1名は緊急受け入れ）

利用状況（短期、体験利用者を含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
253	254	215	241	245	285	310
11月	12月	1月	2月	3月	年間利用日数	
290	296	275	269	310	3,243日	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
8.4人	8.1人	7.1人	7.7人	7.9人	9.5人	10人
11月	12月	1月	2月	3月	年間利用人数	
9.6人	9.5人	8.8人	9.2人	10人	8.8人	

利用者状況

男性	7名
女性	3名

年齢構成（令和6年3月31日現在）

35歳	43歳	44歳	50歳	58歳	62歳	63歳	73歳
1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	2名

3 サービスの提供

利用者すべての方に個別支援計画の作成を行い、個別支援計画に基づいて支援を行った。

4 支援内容

世話人等により服薬、日々の観察、疾病予防、健康管理に努め、状況に応じて通院同行、入院等に関する支援も行った。又、共同生活住居において、整容、身だしなみ、入浴、排せつ又は食事の支援、相談その他日常生活上の援助を適切かつ効果的に行った。個々のニーズに沿った日中活動の支援を行い余暇の充実にも努めた。生活習慣病等の予防、咀嚼、飲み込みに配慮した食事提供を実施する為、献立を外部に委託、バランスの良い食事提供、食べやすさに心がける食事提供を行った。必要に応じてホームヘルプサービスを利用し生活援助、通院援助等を行ってもらい日常生活や余暇の充実への取り組みを行ったが職員対応では限界があり一層のホームヘルプの支援が求められている。

5 年間行事

新型コロナウイルスが第5類に移行したことで感染防止に努めながら例年通りの行事や外出を行い、利用者の方のストレス軽減や余暇の充実に努めた。又可能な限り地域行事にも参加し地域との交流を図った。

主な年間行事

月	施設行事	地域行事
4月	お花見ドライブ、会食（12日）	
5月	環境整備（3日） 施設内会食（4日）	
8月	バーベキュー（16日）	長者の湯イベント参加（11日）
10月		
11月	紅葉ドライブ、会食（8日）	
12月	クリスマス会食（22日） そば打ち体験・大掃除（27日） 年末会食（31日）	
1月	お節会食（1日）	
2月	節分会食（3日）	

6 防災訓練

災害発生時に、敏速に利用者が安全な場所に避難誘導し、利用者の安全に務めるため年2回火災避難訓練等を実施した。

- ・令和5年6月14日（通報訓練）
- ・令和6年1月17日（奥出雲町役場より講師を依頼し講習会の開催）

7 短期入所（令和元年6月1日開設）

運営の実績

1. 目的

居宅の生活が一時的に困難な状況な方・家族の負担軽減・宿泊体験等利用者の要望に基づき短期入所事業を実施した。

2. 定員

1名（空床がある場合）

月	利用者数	利用日数
4月	1名	13日
5月	1名	31日
6月	1名	3日
7月	1名	21日
8月	1名	29日
11月	1名	4日
12月	1名	4日
合計	5名	105日

3. その他

短期入居利用に限らず、日中において支援を必要とする人達の受け入れも行い、他の利用者とふれあうことで生活意欲・自立意欲の向上への取り組みも行った。

8 職員の資質向上

1. 施設内研修の実施。3月13日 虐待について（内部研修）
2. 外部研修（必要に応じて参加）
3. 職員健康保持の為にストレスチェック等の実施。
3. 担当者関係者会議を月1回の開催。
4. 関係機関との支援会議の開催。（支援ケースに応じて）

令和5年度

地域生活支援事業 けやき広場 事業報告

【目的】 町が実施する地域生活支援事業の一環として、障がい児者の社会参加の促進
誰もが参加できる内容に取り組み、併せて地域との交流を促す

【実施】

日付	事業名	内容	実施場所	人数	備考
6月24日(土)	ポッチャ交流会	ポッチャ	町民体育館	6	けやきの郷の利用者さんとボランティアの参加人数は少なかったが、時間が沢山ある分しっかり楽しめていた様子
7月29日(土)	ポッチャ交流会	ポッチャ 卓球バレー	町民体育館	20	学生のボランティア多数参加あり 学生に盛り上げてもらったお陰で、賑やかな空気の中事業を展開できた。
8月26日(土)	eスポーツ	ボードゲーム テレビゲーム	金吉屋	10	けやきの利用者さんとボランティア中心となったゲームっをやったここが無い子の参加もあった ゆっくりとした環境の中じっくりと出来ていた
11月14日 ～ 11月20日	表現自由な作品展	図画工作作品の展示	玉峰山荘		作品数は前回に比べると少なかったが山荘の宿泊客や作品者が鑑賞に来ていた様子も見られた
12月9日(土)	eスポーツ	ボードゲーム テレビゲーム	金吉屋	18	小学生のリハビリ学生が多数参加のお陰で交流を中心とした場所づくりが出来た
2月23日(土)	カラオケ大会	カラオケ	メディアカフェ・サム	10	初めての開催、今まで参加希望が無かった利用者さんも参加された
3月26日	けやき広場、日中一時支援 両用備品の購入	ボードゲーム・知育玩具 ゲーム機・ゲームソフト			

反省・感想

- ・新型コロナウイルスでの感染による事業の縮小は無く、コロナ禍までと同等な数の事業が開催できた。
- ・軽スポーツでの事業では高校生ボランティアを中心に活動を活気的に行え
普段経験することのない内容で学生も馴染めない雰囲気があったが、誰でも簡単に出来る内容だった為楽しく出来ていたのでは感じる。
- ・eスポーツはゲームを行うための事業ではなく、年齢問わず集まれるような場所造りを目標で事業をたてた結果幅広い年齢層の方が集まり、その空間を共有する環境が固まりつつある。
また、ボランティアによる障がいの方への傾聴の様子も見られた。会話のきっかけ造りになったと思う。
- ・作品展例年通り開催できた、作品数が少なく見ごたえが少なくなかったように思える、広告に力を入れ入念な準備や開催期間のタイミングを計る必要がある。
足を運んで鑑賞していただいた方の中に残る物が出来た。
冊子作成のための写真を撮り忘れた為、今後は作品を受け取った日に記録をしておく。
- ・カラオケはけやきの利用者さん中心としての活動であったが、今まで参加したがらない方も参加していただいた機械の使い方がもう少しスムーズに行えれば、より楽しめた印象

次年度に向けての課題

- ・これまで様々な事業を行ってきた中で今年度実施してきた内容を継続的に出来るようにしたい
- ・事業回数を増やし、けやきの郷の利用者さんの余暇の幅を広げる。
- ・参加人数にこだわらず、一つ一つの事業がその時々で進行でき、楽しかったと思ってもらえるものにする。

令和5年度 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防事業：健康塾）の事業報告

【目的】

可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができる。

【人員配置】

管理者：作業療法士 1名

従事者：2名

ボランティア：1名

【支援内容】

①健康相談 ②認知・身体・精神的アプローチ ③動作・生活指導

④行事：花見・ドライブ

⑤送迎

⑥栄養および口腔機能向上アプローチ（年各1回）

栄養：令和5年12月13日（水）・15日（金）；金弦

口腔：令和6年3月8日（金）・13日（水）；金弦

⑦防火訓練（年2回）

令和5年10月11日（水）・13日（金）；雲南消防署

⑧実施計画書作成と再評価

⑨ケアマネジャーとの情報交換および支援会議の参加、福祉業者との連携ほか

⑩ケースカンファレンス（スタッフ間）

【利用実績ほか】

定員：20名 登録者：16名（令和6年3月現在）

開催曜日：水・金曜日（9時30分～15時30分）

利用者別地区：三成（高尾含む）・阿井・布勢・三沢地区

利用者介護度：事業対象者～要支援2（うち生活保護：2名）

延べ月平均利用数：58.6人